

きんもくせい

平成28年 学校教育だより

March **3** 第328号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線622)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



フランス料理の給食に舌鼓

写真提供／富士見特別支援学校

「安らぎの場」

富士見台中一年

岡田 稜平

ドアを開ける
中に入る

階段を上る

「ただいま」と言う

犬がリビングをかけている

テケッ

テケッ

テケッ

うさぎがこちらを見る

母が「おかえり」と言う

妹が「おかえり」と言う

父が帰ってくる

その瞬間から安らげる

心を育てるために

主人公を通して、自分の素直な気持ちを出し合い、時には意見をぶつけながら考える。このようなやり取りの中に道徳の面白さがあると感じます。道徳の教科化に向け、「読み物道徳」から「考える道徳」へと移行していくと言われています。体力や知力も大切ですが、それを支えるのはやはり「心」です。「心」を育てられる道徳の時間はやはり重要です。本校は、今年度、道徳教育研究協力校として県教育委員会の委嘱を受け、授業の研究に取り組ましました。道徳の授業において重要なことは、児童が興味・関心をもって授業に臨めることだと考えています。そこで、本校は生き生きと取り組む児童について①よりよい生き方を願うことのできる児童(関心・意欲)②価値についての考え方を深められる児童(思考)③道徳的価値を理解し、それを実践しようとしている児童(道徳的実践力)と捉え、授業を通してこのような児童を育てていきたいと考えました。今回は、本校の研究している内容を紹介させていただきます。

取り組む実践を目指して

つるせ台小学校 教諭 新井 雄太

道徳の時間は、週に一度、年間三十五時間しかありません。その中で毎時間の振り返りをするのに有効なのは、掲示だと考えています。本校では、全学年で「道徳コーナー」を作り、授業での挿絵や児童のワークシートを掲示しています。掲示することで、継続的にやった内容を振りかえることができます。また、ワークシートを掲示することで、自分とは違う意見に出会うことができます。階段で立ち止まり、興味深そうに友だちの意見を読む姿が見られます。

学校の中に道徳コーナーを

わかる授業 =小学校道徳=

児童が生き生きと道徳授業の

話し合い活動を取り入れる

道徳の楽しみは、自分と違う考えに出会い、考えが深まることだと考えています。そこで、児童同士の話し合いや教師からの補助発問で子ども同士の意見をつなげるようにしています。急に話し合うことは、児童にとって難しいものです。そこで、一度意見をワークシートに書き、ペアで発表し合うことから始めています。本年度本校が行った研究の取り組みとして、どの学年でもペアやグループ活動を



を取り入れました。何度も取り組むうちに児童がお互いを認めあうことにもつながり、温かい雰囲気ができます。高学年では、ロールプレイを取り入れた授業やテーマ発問を取り入れた授業、映像を用い

本郷中学校 3年 大内 華乃

昨年春にクラス替えをしてからもうすぐ1年が経とうとしています。私はこれまで、学校行事に積極的に取り組んできました。合唱コンクールでは実行委員長として全体をまとめ、ロードレース大会では自分の限界に挑戦し、大きな達成感を得ることが出来ました。

全力で駆けぬけた一年

また、弁論大会では学校の代表に選出され、市内中学生の主張大会に出場しました。大勢の人の前で、自分の考えを伝えることは難しいことだと感じましたが、とてもよい経験になりました。残り少ない中学校生活、心に残る思い出を沢山作れるように、最後まで全力で頑張りたいと思います。



導入の工夫

高学年になると、道徳に対して苦手意識が強くなる傾向があります。そのために、資料に入る前の導入では興味を持たせるように、具体的な写真や身近な振り返りから始めます。写真を見る中で「これ知っている」「○○じゃないかな」という意見が出てくると、興味を持ち始めていることがわかります。道徳では、日常の言葉を児童にたくさん出させることが大切です。子どもたちから、

率直な意見を出してもらうには授業の導入がとても重要で

す。資料を読んだ後の振り返りも大切に行っています。読み終わってすぐに「この時の気持ちちは？」と教師に聞かれても、多くの児童は考えがまとまらず、発言することができません。そこで、資料をもう一度なぞるように振り返り、キーワードを押さえてから発問をするように心がけています。少し考える時間をとることで、話しやすい雰囲気づくりに繋がります。

職員間での研修・資料の充実を

今年度、県教育委員会の委嘱を受け、校内で道徳授業の指導案の検討を行いました。道徳では、中心発問やそこに至るまでの発問を考えることがとても重要です。学年職員で、ねらいは何か、どのようにしたらそのねらいに近づけるかについて話し合いました。より多くの視点で資料を検討することで、発問もより精選されたものになりました。

終わりに

私自身未熟なところが多く、現在も試行錯誤をしながら、「心に響く道徳の授業とは」、「わかる道徳の授業とは」について考えています。その為まずは週に一度の道徳の授業に丁寧に取り組むことが大切だと考えます。これらの積み重ねによって児童の心が育っていくようにこれからも努力していきたいと思えます。

指導・講師 つるせ台小学校長 忽滑谷美恵子

子どもたちが将来にわたってたくましく生きていく力を育成するためには、心を豊かにする教育活動が肝要です。本校では、全学級で道徳の授業研究を行い、実践を通して道徳授業の充実に努めています。道徳授業を参観すると、教師の発問を受け、道徳的価値について真剣に考え、級友と意見を交流させている子どもたちの様子が見られます。このような授業の中で、子どもたちの心は耕され成長していくことを願っています。

特別支援教育

「通級指導教室について」

教育相談室 副室長 関口 循子

通級指導教室をご存知ですか? 「ここらと学びの教室」で行われている「ビジョントレーニング」について、日本の指導者では第一人者の北出勝也先生にご講演いただいた内容をもとに、お伝えいたします。

このトレーニングは、視機能強化を目的とし、「文字をとばして読んでしまう」「マスに文字を書くことが苦

手」「ボールが受け止められない」「文字・図形の認識が難しい」「空間認知が苦手」等の改善に効果的だと言われています。一つ目のトレーニングは、「眼球運動」です。「目標物を動かして目だけで追う」「二つの目標物を交互に見る」「より目をする」等があります。二つ目は、「空間認知」です。



パズルや形遊びを通してトレーニングします。このトレーニングは、短時間で毎日続けてこそ効果が現れます。野球選手やボクシングの選手も行うこのトレーニングは、受けている人自身が改善を実感できると評判です。これらの例のように通級指導教室では、楽しみながら学べる指導を心がけていきます。

日頃から道徳の資料について情報交換することで、よりよい道徳の授業に繋がるだけでなく、職員の意識の向上にもつながっていきます。また、本校では、全ての挿絵をデータ化し、すぐに印刷できるようにしています。板書に挿絵があるとよいです。日頃

「家族」

針ヶ谷小学校 保護者 今泉 正幸

今年中学生になる娘と三年生になる息子がいます。父親になり改めて、両親が自分に対してたくさん愛情と優しさを与えてくれたのを知ることができました。そして、二人には優しさや思いやりをもった人間になっ



から日曜学校の存在を覚えてもらい、興味本位で家族と一緒に参加してみました。そこには年齢も私の両親より年上の方や、いろいろな国の人たちがいて、そんな人々と家族で交流をすることに、一番大切なのは家族だということ学びました。

事もさらに思いやつて欲しいです。(笑)



ています。言葉を使えない生き物を育てる」という経験が子どもたちにとって物事を観察する力や相手のことを考える力を育むことにつながると思ひ日々生活しています。



『あいさつ』からはじめよう

水谷小学校

水谷小学校では、「笑顔のふれ合う楽しい学校」を合い言葉に、豊かな人間関係づく

にいても、自らがその中に溶け込んでいくアクションを起こさなければその環境を生かすことはできません。そこで本校では、人と人をつなぐ「あいさつ」を手がかりとして、子どもたちが様々な人々とふれ合うきっかけを作っています。

水谷地区は、地域とのつながりが深く、地域ぐるみで子どもを育てる環境が整っています。このような中で、子どもたちは、多くの人に支えられ、恵まれた環境の中で「生きる力」を身につけています。しかし、いくら恵まれた環境

「あいさつ」をきっかけとして多くの人とふれ合い、地域とともに子どもたちを育てる教育を今後も続けていきたいと思ひます。



「ごんぎつね」学習部屋

鶴瀬小学校

教室中の壁に教科書の「ごんぎつね」の挿絵(拡大絵)を掲示し、床には「ごんぎつね」を敷き、学習机として座卓をおきました。また「魚籠」「火縄銃」等を展示し子供たちを「ごんぎつね」(物語)の世界へ誘います。

り手振りで動作化したりして、友だち同士で想像したことを語り合います。想像豊かに読みを深めるため、本校では各学年が趣向を凝らし、授業実践を行っています。特に、本校では、言語能力の育成のために『単元を貫く言語活動』に取り組みました。四年生は、想像を働かせて各自が、物語文に書きし、脚本作りに挑戦しました。そして、脚本をもとにベ

プサート劇を行います。また、当時の雰囲気味わうために、給食もごんぎつね部屋で食べました。この日の給食は、いわしがおかずとして出ました。まずは、いわしとご飯だけで給食を食べてみました。子どもたちは、「このいわしとご飯が、当時は、ごちそうだったんだよね。」などと会話しながら、いつもとは違う給食を味わっていました。四年生は、この「ごんぎつね部屋」が大好きです。ごんの気持ちにどれだけ寄り添えるか楽しみです。

「考え行動する力」

水谷中学校 保護者 箕輪 はる菜

物や情報が氾濫し、価値観の多様化が進む現代では、子どもを取り巻く環境も日々激しく変化しています。このような現代を生き抜くためには、他者を思いやり、自分で考え行動できるような「生きる力」が重要だと考えます。

普段、私が仕事で帰りが遅くなる事も多く、生き物たちの面倒を見られない時は、子どもたちが代わって世話をしてくれています。その中で子どもたち自身が気付くことも多くあり、「今日、魚が餌を食べないんだ...」や「インコが新しい言葉をしゃべる様になったよ!」など私に伝え「飲み水を替えておいたよ。」と普段から自分ができる役割を見つけて行動し

教育課題特集 はぐくむ ~学校・家庭・地域から~

周りに支援者が...

みずほ学園 副園長 荒居 良宏

毎年、とある神社に初詣に行きます。子どもたちも既に成人し、自立した生活を送っており、この正月も妻と二人で行ってきました。

身が経験してきたことを引き継いでいるに過ぎないのです。このことに気がついたとき、私自身、すつと何かを飲み込めたような気がしました。支援者がいたからこそ、子どもたちに何かを伝えられた。だから今、その恩返しの意味も含めて、必要とする方々に最大限の支援を行えるようになりました。

ですから皆さん、「安心してくださいます。必ず周りに支援者がいますから。」





南畑小

初めての体験！わら細工作り！！

地域の方に教えていただいて作りました。わらをなうのは難しく、初めはできませんでしたが、最後には立派な鍋敷きを完成させることができました。みんな大喜びでした。



鶴瀬小

給食のあとは、みんなで歯っぴータイム！

今年、埼玉県学校歯科保健コンクール地区審査優秀校に選ばれました。歯磨きの個別指導の実施と、家庭でのむし菌処置率の高いことが大きな理由です。学校と家庭で連携して、むし菌予防と対策を続けていきたいです。



本郷中

「ちはやぶる～～」「はい！」

新年恒例の「学年かるた取り大会」です。畳を敷いての二百枚取り。パンパンといい音が体育館に響きます。「空ふだ」にお手つきもあったり、和やかなひと時でした。

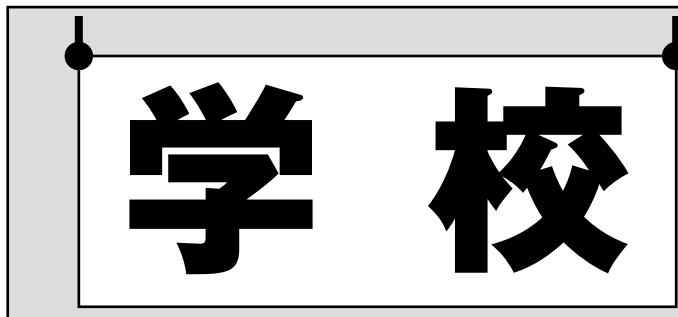
校庭の花々が、少しずつ色を鮮やかにし、春の訪れを感じます。学校は今、一年のまとめの真っ最中です。子ども達一人ひとりが、自分の伸びを確かめ、そして、課題をはっきりさせて進級できるとよいと思います。子どもたちは、様々な活動の中で、成長してきました。中でも、地域の方とのふれあいは、宝物になっています。ファームでたくさん野菜を収穫したり、昔の遊びを教わっていたり、給食と一緒に食べたり、笑顔があふれる時間になりました。大人になっても忘れない素敵な思い出を、一つでも多く、子どもたちに残してあげられたらと思っています。



富士見台中

ダンス発表会

12月21日に体育委員会が企画・運営の中心となりダンス発表会が行われました。体育の選択授業で選抜された49チームが出演し、熱気あふれる発表会となりました。



つるせ台小

全校に広めよう！きれいな歌声

結成2年目の合唱部。音楽朝会、校内音楽会、地域行事、10周年式典、コンクール…。歌声を披露する場も広がり、コンクール出場によって技能も表現力も向上してきました。学校全体の歌声も変わりつつあります。



ふじみ野小

持久走大会に向けて「朝の自主マラソン」

ふじみ野小学校では、持久走大会に向けて11月から朝の時間に、自主マラソンを実施しています。自己の体力向上のために、一生懸命練習する姿が多く見られました。(教師も一緒になり、大会に向けて頑張っています。)



水谷中

白熱しました！「百人一首大会」

国語の授業で一生懸命暗唱に取り組んでいる百人一首。2年生で実力試しを行いました。寒い体育館の中でしたが、どのチームも真剣勝負、熱い戦いが見られました。競技後の「坊主めくり」も大いに盛り上がりました。



水谷小

「見て見て、できたよ」

地域の皆様にご協力いただき、一年生の生活科で「昔遊び」体験をしました。会場のあちらこちらから歓声が響いていました。



富士見特別支援学校

祝開校40周年記念式典！！

1月19日に開校40周年記念式典が行われました。第2部では、ゲストにミュージックボックスを迎えて記念コンサートを行いました。全校で楽しく祝うことができました。

II 市教育相談室よりII

『教育相談Q&A』

Q 「教育相談室」では、どんな相談が受けられるのですか。
A 教育相談室では、様々な相談を受け付けています。

一般教育相談

- ・ 学校に行きたがらない。
- ・ 乱暴や非行が目立つ。
- ・ 落ち着きがない。
- ・ 友だちとのトラブルがある。
- ・ いじめられている。
- ・ 気になる行動や癖がある。
- ・ 元気がなくなった。
- ・ 男女交際で悩んでいる…など。

特別支援教育相談

- ・ 特別支援教育に関する詳しい情報が知りたい。
- ・ 発達障がいと診断されたが、対応方法が分からない…など。

心理相談

- ・ 心がとても不安定で落ち込みが激しい。
- ・ 精神科医に診てもらいたい、が、一歩踏み出せない…など。

対象となる方

- ・ 富士見市にお住まいの方で小学生、中学生、高校生(中退者も含む)および保護者、在勤の教師など。

就学相談

- ・ 入学に関して不安がある。
- ・ 子どもの発達の遅れや偏りが気になる。
- ・ 特別支援教育に関する詳しい情報を知りたい…など。

対象となる方

- ・ 富士見市にお住まいの方で幼児、小学生、中学生、高校生(中退者も含む)および保護者、在勤の教師など。

言語相談・言語訓練

- ・ 発音や聴こえ、言葉の遅れを改善したい…など。
- ・ 言葉がはっきりしない。
- ・ 正しく発音できない。
- ・ どもってしまう。
- ・ 言葉が遅れている。
- ・ 耳が聴こえにくい。(難聴)
- ・ そのほか、発達の遅れによる言語障がいなどがある。

対象となるお子さん

- ・ 富士見市にお住まいの方で小学生から中学生までのことばや聴こえの相談や訓練に応じます。

様々な教育相談について相談を受けた方は、本室まで直接ご連絡ください。また、ホームページにも相談内容等掲載しています。

(問合せ) 富士見市教育相談室

TEL 049-1253-1531

